

2023 年度 卒業制作

金城学院大学 国際情報学部 国際情報学科

メディアスタディーズコース

指導教員 遠藤麻里

学籍番号 2052043

氏 名 志知瑞月

初心者に向けての車中泊に関する雑誌制作

1. 概要

車中泊での旅の認知度上昇と自分らしい旅、ガイド雑誌を制作した。

2. 背景

2020 年度からのコロナウイルの影響で、蜜を避けた行動が見られるようになった。

その影響で、蜜を避けて旅をする「車中泊」での旅スタイルが人気となった。しかし、

実際に車中泊で旅をしようと調べるが、自家用車を本格的に改造し車で生活できるよう

にしたり、どのように車中泊での旅をすると良いのかなど初心者に向けて書かれた雑誌はあまり多くはない。

そこで、始めて車中泊での旅する人に向けて、楽しさや魅力を伝えたりおすすめの車中泊プランを紹介したり初心者用ガイド雑誌を制作した。

3. 目的

本誌の目的は以下の2点である。

- ① 車中泊を皆に知ってもらい、楽しさや魅力を伝える。
- ② 「自分らしい車中泊での旅」を紹介しつつ、本作品を読んだ人にも「自分らしい旅」を見つけてもらう。

4. 方法

写真や文章で車中泊の魅力をたくさん伝えたいと思い、雑誌という形態で制作することにした。

雑誌の編集には、InDesign、画像の編集には Canva を使用した。また、本誌で使った写真は自身で撮影したが、足りない部分はフリー写真を活用した。

5. 制作の過程

(1) 制作物のテーマを決定

自分の旅の体験から、車中泊での旅の魅力や楽しさ、車中泊での旅プランを紹介する雑誌に決定。

(2) アイデア出し

大学での4年間の旅を振り返りつつ雑誌に生かすことができる車中泊での旅プランを選定。その際に、車中泊だからこそ味わえた楽しさを重視した。同時に雑誌の大枠の中身を考えた結果、①車中泊のQ&A②車中泊の楽しいことと大変なこと③車中泊ガイド④おすすめの車中泊プランの4つを主題として制作することに決定。

(3) 割り付け

大まかにどのページにどんな内容を掲載するのかをまとめる。

(4) Wordでの書き出し

(2)で決定した主題をもとにWordにて文章で内容を書き出す。

(5) 下呂へ写真を撮影しに行く

夏の長期休暇を利用して、下呂へ雑誌制作に必要な写真を撮影しに行く。雑誌でどのように活用するかを意識しながら写真を撮影する。

(6) InDesignにて雑誌の制作

(3)割り付けと(4)Word での書き出しを元に InDesign にて雑誌の制作。事前にデザ

インのラフやページレイアウトを考えず、他の雑誌を参考にしつつ制作しながらレ

イアウトをする。(図1と図2)



図1：参考にした雑誌



図2：実際の雑誌

(7) 完成

完成した雑誌を PDF に書き出す。

6. 本誌に対するアンケート調査の結果

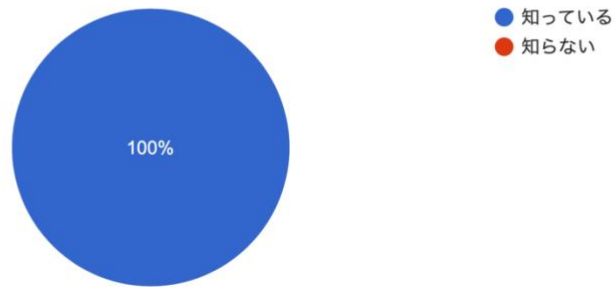
本誌が完成後、20代の学生に5つの質問をアンケート調査した。4人の方から回答を得た。質問内容と回答は以下の通りである。

① 質問：車中泊での旅を知っているか？

回答：

100%の人が車中泊での旅を知っていた。

車中泊での旅を知っていますか。（車中泊＝車で寝泊まりする旅スタイル）
4 件の回答

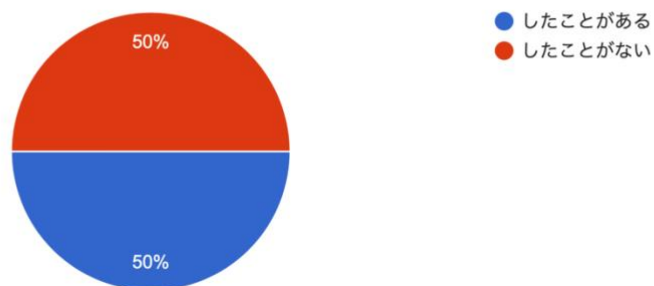


② 質問：車中泊での旅を1度でもしたことがあるか？

回答：

50%の人が車中泊での旅をしたことがあると回答した。

車中泊での旅を1度でもしたことがありますか。
4 件の回答

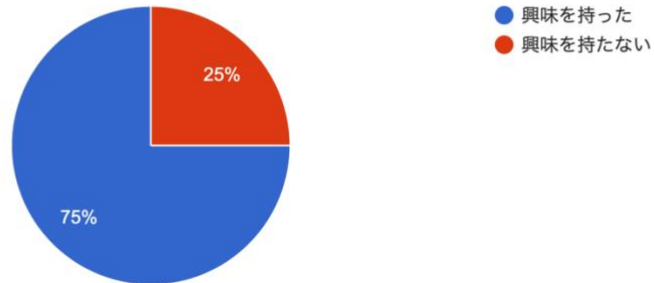


③ 質問：作品を見て、車中泊に興味を持ったか？

75%の人が車中泊に興味を持てることができた。

卒業制作の雑誌を見て、車中泊に興味を持ちましたか。

4件の回答



④ 質問：作品を見た感想

回答：

- ・いろいろな観光地に行ってみたくなった。
- ・最初は、車中泊での旅は難しそうだったと思うが、案外手軽に始めることができるのだと知った。
- ・左端の項目ごと分かれているのが良い。
- ・旅のプランを知ることができた。

⑤ 質問：普段旅する中で、旅のこだわりポイントや大切にしていることは？

回答：

- ・疲れやすいので、頑張りすぎず計画を立てすぎない。
- ・ゆっくり遊べる旅をする。
- ・その土地の有名なものを体験したり食べたりする。
- ・観光地で推しのぬいぐるみとの写真を撮影する。

- ・お金を惜しまないで使う。

7. まとめ

アンケートの調査結果から、全ての人が車中泊という言葉を知っているものの実際に車中泊での旅をした人は少ないことが分かった。このことから、改めて車中泊での旅は珍しい旅の仕方であることが分かった。

本誌を読んで、好意的な意見をもらい、多くの人が車中泊に興味を持ってもらうことができた。このことから、目的①は、達成できたと言える。しかし、目的②は、自分らしい旅である車中泊での旅を皆に紹介することができたが、読んでもらった人が自分らしい旅を見つけてもらうについては、達成できなかったと感じた。質問⑤で皆の旅のこだわりポイントを調査したが、本誌にもその調査結果を記した方が、読んだ人が自分らしい旅を見つけることができたのではないかと思う。事前にアンケート調査の内容を考えるべきだった。

最後に本誌を制作して、どれだけ自分が多くの場所に車中泊での旅をしているかを知ることができた。車中泊での旅の仕方が珍しいが、今後もこれが自分らしい旅であると誇りを持って車中泊での旅をしていきたいと思った。また、この旅の仕方は一例に過ぎない。他にも色々な仕方で旅をしている人がいる。今後も車中泊での旅を基盤に自分らしい旅を見つけていきたいと思う。

使用ソフト

- ・ InDesign

- ・ Canva

参考資料、使用写真

- ・ photo AC

<https://www.photo-ac.com>

- ・ illust AC

<https://www.ac-illust.com>

- ・ 雑誌「車中泊スタートブック（カーネル 2023 年 1 月号増刊）」

<https://www.amazon.co.jp/車中泊スタートブック（カーネル 2023 年 1 月号増刊）-カーネル編集部/dp/B0BQ2NY2K1>

- ・ 雑誌「まっふる飛騨高山白川郷下呂温泉'24」

<https://www.amazon.co.jp/まっふる-飛騨高山-白川郷・下呂温泉 24-まっふるマガジン-東海/dp/4398296743>

- ・ “淡路島・岩谷温泉「美湯松帆の郷」

<https://matsuho.com>

- ・ “馬瀬川温泉美輝の里”

<https://www.mikinosato.co.jp>

